

郡内小中学校障害児学級 バス旅行招待

教育委員長 L 谷 口 武 男

郡内小中学校障害児学級（他にもっと相応しい感じの良い言葉がないものか？）の社会見学・一日バス旅行は、昭和五十年から始まったと聞いております。第一回は養老の滝と南濃町のミカン狩りだったそうです。

それから今年で二十八回になります。今回は先生方の要望により外輪船ミシガン乗船しました。

九月二十六日からうじて天候にも恵まれて楽しい一日を過ごすことが出来ました。今迄にも、このバス旅行に何度か同行しましたが、子ども達の本当に嬉しそうな笑顔や、仕草に感動します。

そして、一時でも自分が優しい気持ちになれる時間を、子ども達から貰っている事に感謝しています。

今後のライオンズクラブの運営を思いますと、活動の見直しも色々必要かと思われませんが、この障害児学級の一日バス旅行だけは、是非とも本之木ライオンズ



ズクラブのメインアクティビティとして継続して行って欲しいものです。

「心豊かなコミュニケーション」 講演会を終えて

計画委員長 L 平 井 英 之

情報が氾濫し、価値観が多様化する現代。今こそ、人と人とのコミュニケーションが大事なのではないか。そんな思いで企画した講演会でした。

四月一日。ナウ・マナーズ教育センター所長藤居寿美子氏を迎えての講演会は、我々計画委員会の不安に反し、会場満席状態で始まりました。

マナーしつけを連想していた大部分の人を裏切るかのように、冒頭から、「コミュニケーションをとりながら、話を進めていきましよう」となによりおもしろ

トレッキング 例会を終えて

計画委員長 L 石 田 宏

年間を通して例会や親睦会を計画・運営する中で新緑の中を歩く機会を考えていました。

当初は、己高山の登山に挑戦するべく計画をたてておりましたが、所要時間・距離の点で断念せざるをえなくなりました。

賤ヶ岳を中心に三方に自然歩道が整備されていることを知り、トレッキング例会の次の例会講師との関連から賤ヶ岳……山本山迄のコースを選定することとなりました。

先ず、下見をするべく三月二十二日（土）に一人で行くのは少し不安で、仕方なく家内を誘って早速歩いてみました。

まだリフトが運行されていないので山頂まで歩いて登りましたが、途中四、五人の人と出会い、手頃で人気のあるコースと思いつつ、息を切らせながら、自然歩道「賤ヶ岳・山本山コース」の出発点に辿り着き、8kmの行程を歩き始めました。

比較的下りの多いコースでしたが、途中松の木立ち枯れの多いことに驚きながらも、良く整備されて案内板も随所に立てられ、歩きやすいので、このコースなら大丈夫と安心し、山歩きを楽しみながら西野の手前で昼食としました。



当日不順な天候にも関わらず、沢山のメンバー諸兄にご参加戴きありがとうございました。末筆ながら本例会のコースパフレット・リフト乗車券等につきまして、木之本町観光協会事務局の皆様にご大変わ世話になりました。

山本山まで後三・三kmとなり後一息の思いで頑張っておりましたが、これから山本山までは、キツイ登りが続き休憩の連続となり、青息吐息で山頂へ辿り着き、麓の神社への道が急な下り坂となり、「スズメ蜂に注意」・「三月十八日熊出没注意」の看板を見て二人で仰天し、例会のコースは、標高の一番低い西野集落分岐点迄が時間・距離等からいいのではないかと下見の帰途に思いました。

後日、委員会メンバーで西野周辺の下見を実施、委員長のL平井・メンバーのL吉川両氏と「阿曾津千軒」集落後まで歩き、当日のコースに入れるか否か……結局コースには入れない事となりました。

計画も具体的になり当日の準備は着々と進みましたが、天気だけが気がかりでした、統計では五月十一日は、過去八〇%近くの確率で、晴れ若しくは曇りであることから先ず大丈夫と安心しておりました。

例会日が近づくにつれ、週間天気予報にも変化が出て、前日から降ったり止んだりの空模様となり、例会案内に小雨決行があり実施することとなりました。

平井委員長と登山が趣味のL幸田両氏が先頭に、L大橋・L吉川と私で最後尾を歩きました。途中から気が付きましたが両氏がコースの空き缶等を拾って袋に入れていたのではありませんか……私自身ただ歩くだけを考えておりましたが、ライオンズの本音の部分はまだ十分理解出来ませんが、これぞライオンズスピリットと感激致しました。

ブナの木の手入れ

環境保全委員長 L 柴 田 真

今年度は、昨年と同様でブナの木の手入れと、下草刈を行う事にしました。

十月十三日会員三十二名の参加でブナの会の皆様の指導のもと、苗木場の草引などをしました。ブナの会の先生達の話を聞きますと、種をまき苗場に移すまで二年間という月日を経て三年から四年という期間で四、五センチの苗木に育つという事です。



その苗木を赤子山に持って行き、昨年植えた下草刈、又枯れている所には苗木を植え直しました。姉川河川の支流である高時川本流支流の山間部においては、チップ材のブナ、どんぐりなど雑木の落葉樹の採採で山は、丸裸です。今年度地区ガバナースローガン「水とみどり世界を結ぼう」のテーマで今後委員会として、国有林であれば植林をして、百年先にはブナ林がよみかえる事を、願っています。



二〇〇二年～二〇〇三年の「七本槍」も当初の計画通り三回の発行をみる事ができました。計画委員会のユニークな例会運営のおかげで掲載記事は盛沢山。ご投稿頂きました各員に対し感謝致します。

今年の阪神タイガースは六月に入っても負け込まない、何かが違う確かに強い。「運がよい」とか「付がある」という言葉は日常会話でよく耳にする。「運」「付」は誰にでも与えられるものであり、与えられないものでもあると思う。それは目的に向かって努力を重ねる者にこそ与えられるものであると思う。大変厳しい経済状況の中諦めず逃げずに努力し、頑張っていきたいものです。

(Y・T)

広報情報 会報編集委員会

- 委員長 L 谷 口 安志
- 副委員長 L 堀 江 論
- 委員 L 三 國 宏
- 委員 L 榎 本 博
- 委員 L 中 谷 寿雄
- 担当副会長 L 山 口 巖